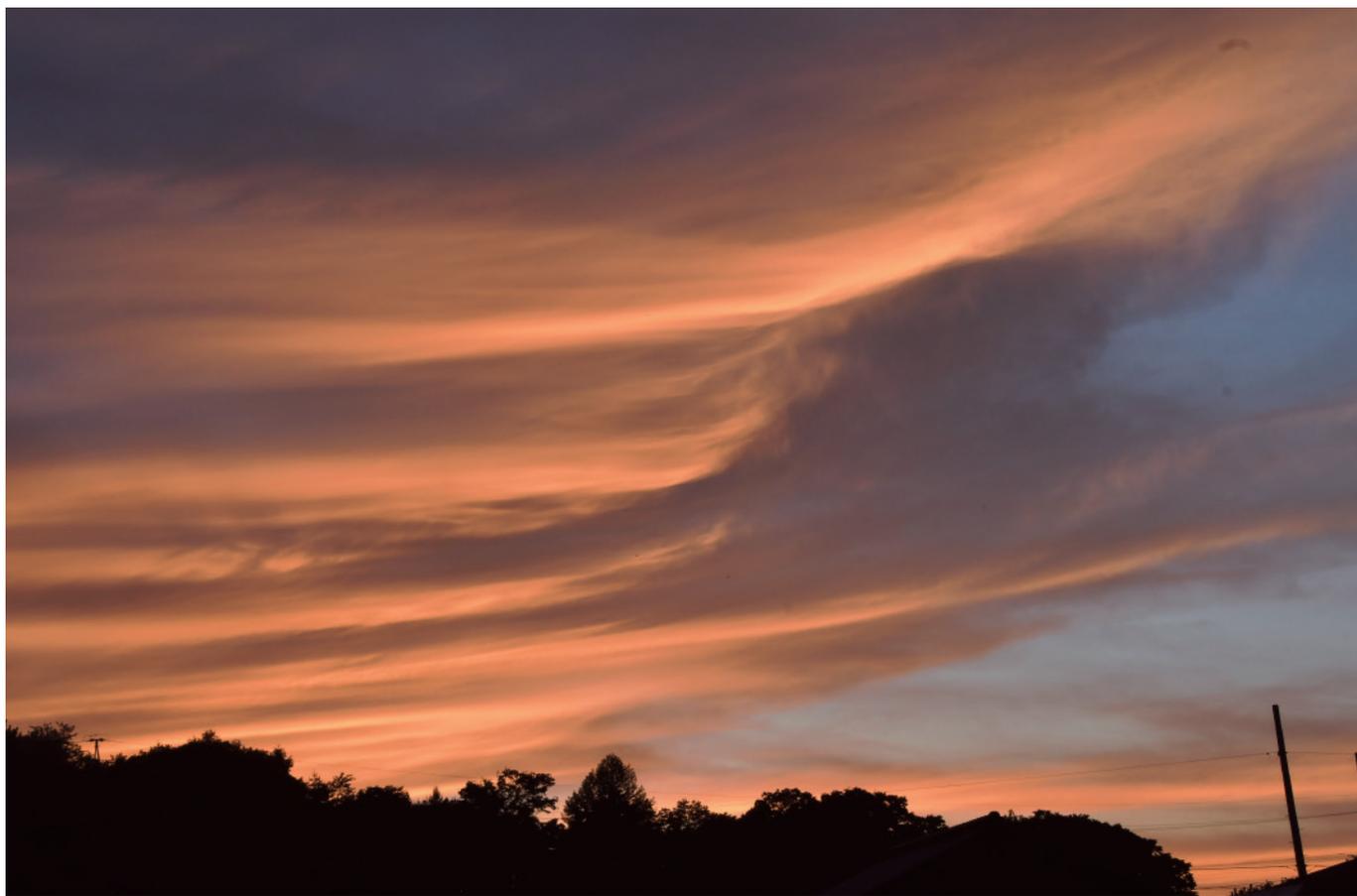


●発行：立科町公民館 ●編集：館報編集委員会 TEL 0267-88-8417



「落日の輝き」 [写真提供：蓼科写真クラブ]

私も新しい挑戦として「自分をもっと表現できる方法」を模索してみたくになります。例えば、文章や絵を通じて自分の考えや感情をもっと伝えてみるとか、日々の生活に少しでも新しい要素を取り入れてみたいなどと考えています。交流の機会が増えている今の時期は、そんな小さな挑戦をするにはもってこいです。

皆さんは春になって何か新しく始めたいことがあったり、以前よりも積極的に行動しようと思ったことがありますか？

例えば、どんな場所や人との交流をしてみたいですか？

T・T



風見鶏

春の暖かい日差しを感じると、自然と心も軽くなり、新しいことに挑戦したくなる気持ち湧いてきますよね。寒い冬が終わり、芽吹

きの時期が来ると、どこかで「何かを始めるとは良いタイミングだな」と感じます。

新たな出会いの季節は一步踏み出して新しい交流を楽しんだり、以前はためらっていたことに挑戦したりするのも素敵なことだと思います。例えば、新しい趣味を見つけてその世界に飛び込んでみるのも良いかもしれません。身近なところで行動的に動き、春の季節に合わせて自分も成長できるような活動に参加してみるのには、新鮮な気持ちと味わえるはずですよ。またそんな活動の場所が身近に増えたような気がします。

第52回 立科町文化展開催

恒例の立科町文化展を、令和6年11月1日から3日まで、中央公民館及び老人福祉センターで開催しました。町内の文化団体や個人、小中高の児童生徒の作品を含めて約500点が展示され、友好都市愛川町からの出展や蓼科高校茶道部の皆さんによるお抹茶サービスもあり、大いに盛り上がりました。どの作品も力作ぞろいので、来場したみなさんからは感激の声が聞こえました。次回も多くの方のご来場・出展をお待ちしております。



第9回 ふらばーるバレー大会開催！

2月16日(日)立科町体育センターにおいて第9回ふらばーるバレー大会が開催され、21チームと多くのみなさんに参加いただきました。予選は、A〜Gまでの7ブロックによるリーグ戦方式、決勝トーナメントは、各リーグ1位のチームと敗者復活枠の8チームで行いました。

開会式では、暁乃会バレー同好会(赤沢連合分館)の代表者による力強い選手宣誓があり、競技では、白熱した試合が繰り広げられ、大きな声援に選手の皆さんも素晴らしいプレーを見せてくれました。参加チーム・大会結果は以下のとおりです。選手のみなさん、お疲れさまでした！

大会結果

- 優勝 町レディース(町分館)
- 準優勝 塩沢蓬萊PLUS(塩沢連合分館)
- 第3位 町(町分館)
- 第3位 マコモのユカイな仲間たち(真蒲分館)

優勝 町レディース



準優勝 塩沢蓬萊PLUS



No.	チーム名	分館名
1	町	町
2	町レディース	
3	N方・青年部 A	
4	N方・青年部 B	野方
5	ATAGON	
6	アルタイル大城	大城
7	暁乃会バレー同好会	
8	赤沢バレー女子組	赤沢連合
9	マコモのユカイな仲間たち	真蒲
10	牛鹿・柳沢連合	牛鹿・柳沢連合
11	外倉	外倉
12	塩沢蓬萊 PLUS	
13	N.Shiosawa MAX	塩沢連合
14	西塩沢火消し隊	
15	ザワフジ酒造	藤沢連合
16	FJSW 特攻集団	
17	M・N・A	
18	H・Y・D	桐原連合
19	桐原 FV	
20	桐原ゴッツ	
21	茂田井	茂田井



立科町公民館まつり開催

立科町公民館まつりが3月2日(日)に立科町老人福祉センターで行われ、18のグループや団体が出演し、日頃の活動の成果を発表しました。「文化祭」から「公民館まつり」へと名前を変えて開催し、キッチンカーの出店もあり、多くの方にご来場いただきました。出演者は、それぞれ工夫を凝らした衣装を身にまとい、ステージでは照明による演出効果もあり、とても華やかでした。グループによっては会場の皆さんと一体となって演奏するなど、大変盛り上がる「公民館まつり」となりました。メンバーを募集中のグループもありますので、興味のある方は中央公民館(0267-881-8417)までご連絡ください。

グループ名	ジャンル
立科シンフォニー	バンド演奏
立科中学校吹奏楽部	吹奏楽
青春会	ダンス・歌とギター
オズダンスサークル	社交ダンス
らくらく音楽講座	キーボードアンサンブル
どんぐりころころ	人形劇・ダンス・ブラックシアター
童謡唱歌を唄う会やまびこ	合唱
立科小学校合唱クラブ	合唱
立科コーラス	合唱
うたの会「華」	合唱
立科小学校管楽器クラブ	吹奏楽
ふれ愛フレンズ	合唱
立科民謡クラブ	民謡
ときめき舞踊会	舞踊
陽順会	三味線合奏
立科太極拳の会	太極拳
ときわ会	銭太鼓
御泉水太鼓ジュニアチーム	和太鼓

【出演順】





秋のさわやかハイキング

9月26日(木)に「秋のさわやかハイキング」を開催しました。今回は秋の霧ヶ峰八島湿原を歩きました。景色も素晴らしく、みなさん感動しておりました。また、ガイドさんによる解説もあり、動植物や湿原の成り立ちなどを聞きながら、じっくりと自然を味わうことができました。



ブラリ中山道歴史散歩

地元の芦田宿をはなれ、中山道の宿場町を歩いて巡る「ブラリ中山道歴史散歩」を11月16日(土)に開催しました。今回で3回目となる人気の講座になります。今回は長久保宿・和田宿でしたので、今回は下諏訪宿まで足を伸ばし、現地ガイドの案内のもと、各宿場の名所はもちろん、諏訪大社との関わりなどについて、ブラブラ歩きながら解説していただきました。また、本陣の岩波家では、おいしいお抹茶をいただきながら素晴らしい庭園を眺めることができました。参加者からの質問も多く、大変盛り上がる歴史散歩となりました。



横坂源チェロコンサートin立科町

町民のみなさんにもお馴染みとなりました、サントミュージックコンサートを12月5日(木)に中央公民館大会議室で開催しました。今回は、横坂源さん・加藤洋之さんによるチェロとピアノのデュオコンサートでした。演奏は大変迫力があり、普段あまり聴くことのできないプロの演奏を体験することができました。MCではチェロについて解説いただく場面もあり、素晴らしいコンサートとなりました。



冬の映画鑑賞会「土を喰らう十二ヵ月」

2月22日(土)に老人福祉センター集会室において、中江裕司監督、沢田研二主演の「土を喰らう十二ヵ月」を上映しました。水上勉さんのエッセイが原案の作品で、丁寧な食と暮らしから、豊かな暮らしとは何かを考えさせられる内容でした。上映後のアンケートでは「食べることの大切さを教わった」「農業をしたくて移住してきたのでストーリーが良かった」など感想をいただきました。



クリスマスリースづくり教室

12月8日(日)に中央公民館大会議室において「クリスマスリースづくり教室」を開催しました。木の枝やいろいろな種類のまつぼっくり、ユーカリなどの材料を使い、参加者の皆さんは自由な発想でリースづくりに取り組みます。どの作品も個性豊かで工夫を凝らしたものとなりました。なお、本講座で使用したユーカリについては、合同会社たてしなサンサンファームさんより寄贈いただきました。紙面にてお礼に代えさせていただきます。ありがとうございました。



新着本の紹介

「土屋隆夫の作品と生涯」 二川 透(著) 文彩堂出版(出版)



土屋隆夫の作品と生涯
二川透

立科町出身の推理小説家・土屋隆夫さんの評伝。評伝は、土屋さんの14の長編作を中心に構成し、当時の新聞記事や書評に著者の評論を交えてまとめている。土屋さんの作品には、立科町を思い起こさせる農村が舞台になるものもあり、「風土に根を下ろした作品を書く」などの理由で土屋さんが郷里で活動し続けた背景も記述している。

〈土屋隆夫(1917~2011)〉

立科町芦田の自宅を拠点に執筆活動。1963年日本推理作家協会賞受賞、2002年日本ミステリー文学大賞受賞、立科町名誉町民第1号となる



「土屋隆夫の作品と生涯」の舞台裏

二川 透

推理小説家土屋隆夫のことを知ったのは、北海道室蘭市の小さな書店で私が中学生の時でした。僅かな量の文庫本コーナーに土屋隆夫の本が二冊ありました。

そして三十七歳になって移住した立科町が土屋隆夫さんの住む町だったとは、全く思いもよらないことでした。それをきっかけに土屋作品を改めて読み始めました。

立科町民としての暮らしは今年で二十六年目になりますが、結局私は一度も土屋隆夫さんにお目にかかることはできませんでした。しかし土屋隆夫さんの業績を書物にまとめることはできないかという思いが、心の中にずっとくすぶっていました。

一昨年の正月に土屋隆夫さんのご子息哲夫さんから、評伝に必要な資料をお借りすることができたのですが、飲食業を営む身に時間の余裕は乏しく、その年には一行も書き進むことができませんでした。

そういうわけでその年末から昨年の正月にかけて、一か八か飲食店を三十七日間休業し、なんとか脱稿にこぎ着けたのがこの「土屋隆夫の作品と生涯」です。通常は出版社に原稿を渡して待っていればよいところですが、出版社に払うお金もなく、それから約九カ月をかけて自分でレイアウトやデザインを施して、印刷製本会社に直接作らせたのがこの本ということになります。

ですから自費出版ながら出版社の手を通しておりません。ただバーコードを取得するところを文彩堂出版にやってもらったので、文彩堂出版発行という形になっています。

近隣図書館や立中、蓼高などに寄贈させていただきましたので、機会がありましたら是非お手に取ってみてください。現在は芦田の「はじまるカフェ」と「アツマルセンター」の二カ所にて購入可能です。びっくりするほど売れてないんで笑っちゃうしかないわ。

寄贈者(敬称略・順不同)

たくさん図書の寄贈をいただき、ありがとうございました。紙面にてお礼に代えさせていただきます。

三井 優子 二川 透 元町 聖 他匿名多数

お話し会のおしらせ

「ちいさなおともだちのおはなし会」

日時 4月30日(水) 午前10時30分~
場所 中央公民館 視聴覚室 対象 0歳児~
内容 大型絵本、パネルシアターなど、親子でお楽しみください!

図書室利用案内

■お一人5冊まで(新刊本、雑誌は4冊) ■2週間借りられます

開室時間 ●月曜日~金曜日 午前10時~午後6時
●土曜日 午前10時~午後5時
●日曜・祝日 午後1時~午後5時

開室時間 ●毎月最終月曜日
(その日が祝日の場合はその翌日)

●年末年始
●蔵書点検、館内清掃など特別に決めた日

おでかけ絵本室のおしらせ

~たたみの部屋で ゆったり絵本をご覧ください~

期間 3月26日(水)~4月16日(水)
(時間は図書室の開室時間と同じ)

場所 中央公民館創作室

図書室の絵本を創作室に移動し、テーマ別に並べます。表紙を見て絵本を選ぶことができます。



今、ボッチャが熱い！

みなさん、「ボッチャ」をご存知でしょうか。簡単に言うと・・・白いボールめがけて、赤・青のチームがそれぞれ6球ずつのボールを投げ、どれだけ近づけることができるかを競うスポーツです。単純なようで奥が深く「地上のカーリング」とも言われています。東京パラリンピックで日本選手がメダルを獲得し話題となりましたね。ルールも簡単に体への負担も少ないため、年齢や障がいの有無にかかわらず、誰もが楽しむことができるスポーツとして、立科町でも徐々に広まっています。

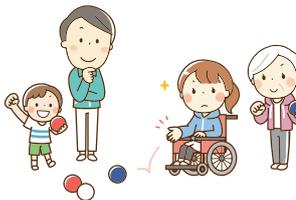
立科町中央公民館では、「ずくりの会」と協力し、体験会・練習会を定期的に開催してきました。大会にも出場し、大いに盛り上がりました！令和7年度も開催していく予定ですので、「たてしなび」等での情報配信をチェックしていただければと思います。

また、町区シニアクラブでのボッチャ研修、立石分館のボッチャ大会、古町シニアクラブでのボッチャ体験会など、ありがたいことに、各分館・地域の方々からお声がけをいただき、ルール説明や体験のお手伝いもさせていただきました。

思い通りに投げられたり、全然違う方向へ投げてしまったり、一喜一憂するのもボッチャの面白いところですが、何よりも世代を超えて交流できることが一番の魅力だと思います。

皆さんの公民館でも地域の状況に合わせたボッチャを楽しんでみませんか。

ずくりの会共催ボッチャ体験会



立石分館ボッチャ大会



古町公民館ボッチャ体験



令和7年度立科町二十歳の式典実行委員募集！

中央公民館では、令和7年8月15日(金)に開催を予定している二十歳の式典の実行委員を募集しています。実行委員の方には主にアトラクションの企画・運営を担当していただきます。

対象は令和7年度に二十歳を迎える方々で、立科町二十歳の式典の出席対象者です。

自らの式典をより心に残るものとする機会にもなります。二十歳を迎える皆様のアイデアを活かし、式典を一緒に盛り上げましょう。お友達とお誘い合わせての参加でも構いませんので、少しでも興味のある方は、ぜひご連絡をお願いします。積極的なご応募をお待ちしております。

- 対象者 平成17年4月2日～平成18年4月1日生まれの方
- 募集人数 5名程度
- 募集締切 令和7年5月23日(金)
- 応募先 立科町中央公民館 (0267-88-8417) までご連絡をお願いします。